ドイツ音楽療法センター

ハンブルク国立音楽演劇大学提携国際プログラム

臨床音楽セラピスト養成科

Das berufsbegleitende Ausbildungsprogramm "Klinische Musiktherapie"

2024 年 春開講　<夜間プレコース>　募集要項

はじめに

臨床音楽セラピスト養成科は、音楽療法の中でもとりわけプロフェッショナルな技法である深層心理学的な"**サイコダイナミック音楽療法** Psychodynamische Musiktherapie "のメソッドを中心に、多様なニーズに対応する専門性の高い音楽療法士を育成する社会人コースです。この音楽療法は、欧州とくにドイツ語圏ではスタンダードな芸術療法および非薬物療法として、病院や施設で広く実施されています。

このコースが目指しているのは、治療的な枠組みの中で、音とことばを通して心のケアに携わる音楽療法士の育成です。小さなお子さんからご年配の方を対象に、医療、福祉、教育など幅広い分野で、個人セラピーやグループセラピーを行います。心理カウンセリングと音楽即興のアプローチを活用するセラピストとして、先駆的に活動したい人に門戸を開いています。

カリキュラム

このコースはドイツ・ハンブルグ国立音楽演劇大学大学院音楽療法学科と提携した日本唯一の**精神分析的音楽療法士養成プログラム**です。ドイツ音楽療法協会が規定する 120 単位の科目を履修します。欧州で発展した実践的かつアカデミックな方法を用いて、目に見えない無意識の働きやこころの声を聴き、音と響きに対する感受性を養いながら、象徴的で論理的な思考を深め、臨床能力を高めます。

このコースの特徴は、セラピストに不可欠な自己分析を重視している点です。そのため、受講者自身が音楽セラピーを受けて、専門的な洞察力を養っていきます。具体的には**個人療法**(50 時間以上)、**グループ療法**（50 時間以上)、**スーパービジョン**（50 時間以上）の 3 タイプのトレーニングがあります。 グループ療法はカリキュラムに含まれますが、個人療法とスーパービジョンの一部は課外授業として自己負担となります（授業料に含まれません)。また、日本にはまだ定着していないメソッドを学ぶために、本場の「病院実習(注 1)」や海外教授陣による「ドイツ研修（通訳付き）(注 2)」の参加を奨励します。

（注 1）ドイツの病院実習にかかる実習費は基本的に無料（渡航費・滞在費等は自己負担）
（注 2）ドイツ研修は 2 年毎に開催。次回は 2024 年 9 月開催予定（任意参加で費用別途）

授業科目　＊科目は追加・変更される場合があります

深層心理学的音楽療法概論、音楽心理療法の基本、世界の音楽療法メソッド、臨床即興演習、古典＆現代精神分析、対象関係論とモダン乳幼児心理学、一般心理療法概論、職業倫理、文献講読、論文指導、臨床ピアノ奏法、ギター、楽典、声のセラピー、ゲシュタルト療法、身体ワーク、ドラマセラピー、医学、精神医学、心療内科、実習指導、グループ音楽療法、スーパービジョン、相互セラピー、特別講座等

レベル	コース名	目標
1	**夜間プレコース** ↓ ベーシックコース（6 ヶ月）	各科目の基本を学び、自己を見つめて気づきを深める。 セラピストとしての適性について感じ考える。
2	アドバンスコース（12 ヶ月）	セラピストになるための感性を磨き、主観の重要性を理解しながら 深層心理学の理論と音楽療法の実践をつなげる。
3	資格取得コース（12 ヶ月）	セラピストの視点からセッションの事象を把握し、実践力を高める。 症例からいろいろなアプローチを学ぶ。
	修了認定（6 ヶ月）	研究論文の作成と資格認定試験を経て、 自立したセラピストとして活動する。

＊内容や時間等は変更になる場合があります。
＊カリキュラム外に「初級ドイツ語オンラインクラス」を開講しています。（希望者のみ・別途申込み）
＊各コースの修了証はございません。修了証（資格認定証）は、レベル 3 までの全課程を修了した者のみ発行されます。

夜間プレコースについて

夜間プレコースの目標は、深層心理学的音楽療法の基本を学ぶこと、グループでの臨床音楽を通して自己を見つめることが、学びの中心となります。知的理解だけではなく、自分自身の体験を通して理解することが大切です。そしてこの学びと体験が、セラピストとしての適性について自ら考えることにつながります。

夜間プレコースを経て、臨床音楽セラピスト養成科本科で資格取得を目指したい方は、**面接を経て「ベーシックコース」へ進学**します。ベーシックコースの次の開講は 2025 年を予定。ベーシックコースの授業料は半期 302,500 円（税込）のほか、初年度のみ入学金 5 万円（税別）と施設使用料 5 万円（税別）が必要となります。

このコースの受講者は、夜間の通常授業のほかに、グループ療法（曜日は選択可）、ドイツ研修、ゲシュタルト療法集中講座や特別講座等の受講が可能です。

修了証

臨床音楽セラピスト養成科の全課程修了および修了試験合格者には、提携校ドイツ・ハンブルク国立音楽演劇大学（Hochschule für Musik und Theater Hamburg）の名称を含む修了証が授与されます。修了証は資格認定証になります。

休学制度

臨床音楽セラピスト養成科では、仕事や子育て、介護などと両立しながら学ぶ人のために、休学制度を設けています。休学期間は最長 3 年間です。（注：年度により授業実施の曜日が異なります。復学の際にはご留意ください）

また、個別のご事情がある場合は、入学前や入学面談の際に遠慮なくご相談ください。なお、入学後の授業欠席に伴う補講等に関しては、科目により対応が異なるため、授業開始後に各担当講師にお問い合わせください。

募集要項：夜間プレコース

- 授業開始日：2024 年 05 月 29 日（水）
- 課程：1 セメスター制（約 6 ヶ月間）
- 授業日時：・対面授業：水曜日　（月 2 回・2024 年 5 月～11 月・ 9 月は休講）
  ・その他集中講座（年数回不定期）/ グループ療法（曜日は選択可）など受講可
- 課外（別途料金）：特別講習会、自己分析セラピー、スーパービジョン、ドイツ研修など
- 場所：明大前教室（京王線井の頭線「明大前駅」徒歩 2 分）
- 学費：247,500円（前期授業料22万5千円＋消費税）　＊分納可
- 定員：約8名
- 入学資格：原則として以下の条件を満たすこと
  ① 大学卒業以上または 2 年以上の高等教育（短大・専門学校等）を修めた人
  ② 音楽経験があり、音で表現することが好きな人（演奏能力は問われません）
  ③ 自分と向き合うことができる人（個人療法/グループ療法の経験者が望ましい）
  ④ 就労経験のある人が望ましい
  ⑤ ドイツの実習や研修に参加できる人が望ましい

授業について

- **通常授業（全 12 回・明大前教室）**

  ＊日時：月 2 回水曜（2024 年 5 月～11 月・ 9 月休講）

  ① 18:10~19:50　『はじめての臨床即興演習』

  ② 20:00~21:40　『音楽心理療法と精神分析講座』

  ＊日程：5 /29　6 /12・26　7/10・24　8 / 7 ・21　10/16・30　11/13・27　12/11

  ＊日程は変更することがあります。

  ＊その他：『グループ療法』（週末等に不定期開催・選択可）に参加できます。

- **特別講座**

  海外在住講師の来日等に応じて、年に数回の集中講座や特別授業を実施します。（別途申込）

入学面談（オンライン面談）

- 日時：**2024 年 05 月 11 日（土）14 時 00 分より**

  ＊一人およそ 20 分程度の個人面談を行います。

  ＊各自の面談開始時刻は、メールにてお知らせします。

  ＊日程のご都合が合わない場合、面談日を随時設定しますのでご相談ください。

  ＊面談の中で音楽演奏をしていただきます。（任意曲を 3 分程度、楽器やジャンルは不問）
- 方法：オンライン
- 料金：無料

入学面接を受ける前に

このコースで学ぶ前に、「音楽療法個人セッション」「はじめての音楽心理療法入門セミナーonline」「音楽心理療法のグループワークショップ」などを受講して、音楽心理療法の特徴に触れておくことをお勧めします。

申込方法

別紙の入学申込書（作文付き）に必要事項をご記入の上、事務局までメールでお送りください。

- 申込締切日：**2024 年 0 4 月 30 日（火）**
- メールでの送付先：info@gmtc-jp.com　ドイツ音楽療法センター事務局
- メール送信できない場合は、下記の住所まで郵便にてお送りください。

  提出先：　〒180-0003　東京都武蔵野市吉祥寺南町 5-8-10

  ドイツ音楽療法センター事務局

<講師>　＊教科別五十音順

井上眸（音楽療法）：日本音楽療法学会認定音楽療法士/教育学修士。三重大学教育学部音楽教育コース卒業、同大学院教育学研究科音楽教育専修修了。在学中より緩和病棟および高齢者療養病棟における音楽療法、子どもと家族のための芸術療法プログラムに携わる。修了後、生活介護事業所、保育所、児童発達支援センター、学童保育等において、音楽療法士・音楽講師として勤務。

内田博美（音楽療法）：ドイツ認定 Diplom 音楽療法士/教育学修士/Ph.D. candidate。国立音楽大学ピアノ科卒業、横浜国立大学大学院教育学研究科修了、ミュンスター大学音楽療法科修了。同大学院博士課程在学中に著作『音楽療法の本～もう一人の自分と出会う』（アルク出版企画）を出版。2010 年から東京を中心に講師およびセラピストとして深層心理的音楽療法の指導と普及にあたる。

鎌田菜美（音楽療法）：ドイツ認定Diplom音楽療法士/ドイツ音楽療法協会認定音楽療法士/音楽トラウマ療法士/声楽家。国立音楽大学声楽科卒業、ドイツのミュンスター国立大学音楽療法科修了。在学中に児童思春期精神科及び成人心療内科の現場実習で経験を積み、多田房代氏のアシスタントとして障害者施設の音楽療法に携わる。卒業後2003年よりミュンヘン郊外の精神科病院Inn-Salzach-Klinikumにて常勤音楽療法士として勤務、精神科及び心療内科の入院病棟、デイクリニック、外来をはじめ、高齢者病棟、依存症病棟、児童思春期精神科、司法精神科、脳神経科で個人及びグループ療法を行う。2019年にバイエルン文化賞受賞。ミュンヘン在住。

キカート結佳（音楽療法）：　ドイツ認定Diplom音楽療法士、ドイツ音楽療法協会認定音楽療法士、心理療法専門ハイルプラクティカー。明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業、SRHハイデルベルク大学Diplom音楽療法科卒業。2009年より成人精神科・心療内科・精神療法クリニック勤務、2023年に成人心療内科デイクリニックに転職、主に深層心理学的音楽療法やシステム論的音楽療法を実施。日本人音楽療法士の中では音楽療法的システミック・コンステレーションと文化間アイデンティティを専門とする第一人者。2012年以来ハンブルクに「音楽療法室こころ」を持ち、個人&グループセラピーを提供。その他、ドイツ語圏のアジア人音楽療法士のためのワーキンググループの責任者も担う。

紀野温子（音楽療法）：ドイツ認定 Diplom 音楽療法士、同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽コース卒業、ドイツ SRH ハイデルベルク大学音楽療法科修了(M.A.)。在学中より、児童・青年精神科、老年科病棟、障害者施設等で研修を積む傍ら介護施設や音楽教室にて音楽療法を行う。卒業後はザールランド州の心療内科で常勤音楽療法士として勤務し、2020 年帰国。現在、フリーランスの音楽療法士として働いている。

小宮暖（音楽療法）：米国認定音楽療法士（MT-BC）/分析的音楽療法士（AMT）、桐朋学園大学ピアノ科卒業、ニューヨーク大学大学院音楽療法科修士課程修了。2005 年より分析的音楽療法の個人開業（現在：横浜）桐朋学園、国立音楽大学　非常勤講師　訳書：ケネス・ブルシア【編著】『音楽心理療法の力動』

庄子雅保（臨床心理学・精神医学）：公認心理師，臨床心理士；北海道医療大学看護福祉学研究科，九州大学病院心療内科にて臨床心理学，心身医学，健康心理学を学ぶ。国立精神・神経センター精神保健研究所での研究，同センター国府台病院での臨床経験を経て，現在山梨大学医学部附属病院勤務，テュービンゲン大学博士課程後期在籍中。

江夏亮（心理療法）：公認心理師、東京大学卒業後、日本鋼管（現ＮＫＫ）中央研究所へ入社。新製品開発の功績により社長賞受賞。退職後東京ゲシュタルト研究所チーフマネージャー、プログラム開発に従事。1990年渡米。トランスパーソナル心理学研究所を始め、アメリカ西海岸で様々なトレーニングを受け、夢のセッションや講義も行う。1993年帰国後現在まで心の健康相談室の代表を務め、個人セッション、グループワークを行う。心理学コンサルタントとしても幅広く講演、研修、雑誌の原稿執筆と活躍中。プロのカウンセラーや心理学の専門家のためのセラピストとして信頼を集めている。現在はメンタルヘルスの企業研修も積極的に行う。2004年から2018年まで米国の臨床心理学名門カリフォルニア臨床心理大学院日本校の准教授及び実習ディレクターを兼務。代表著書「自分でできる夢分析」

根岸理恵（ドラマセラピー）：米国認定ドラマセラピスト（RDT）、上智大学文学部心理学科卒業後、ニューヨーク大学大学院教育学部修士課程ドラマセラピー専攻修了。精神科や特別学級にてドラマセラピーを実践後、短期大学や大学にて講師を務め、ドラマセラピー・インスティテュート（JDTI）にてワークショップを通じて普及・育成活動を行う。

松下映夫（医学）：医学博士。東北大学大学院理学研究科（修士）を修了した後、慶応大学医学部・専任講師（薬理学）、国立癌研究所（米国）・訪問博士研究員、東レ株式会社医薬研究所・研究室長、独立行政法人(現：国立研究開発法人水産研究教育機構）水産大学校・教授などの研究・教育職を経験し定年退職後は関東リハビリテーション専門学校の非常勤講師として、また、千葉大学発ベンチャー企業である株式会社サーマスの最高顧問として生理学の講義や技術指導（食品の栄養生理機能）を行う。

相澤隆(研究方法)：西洋史学者。東京大学名誉教授。東大文学部西洋史学科卒、ドイツ・ヴュルツブルク国立大学留学を経て同大学院博士課程満期退学。1990年東大教養学部助教授、1996年同大学大学院総合文化研究科助教授、2000年より教授。2018年退職後に名誉教授就任。専門は中世ドイツ史。

その他の外部講師

ドイツ音楽療法センター　事務局

〒180-0003
東京都武蔵野市吉祥寺南町 5-8-10
TEL：0422-77-4199　FAX：0422-43-6571
Email: info@gmtc-jp.com
Web: www.gmtc-jp.com

ドイツ音楽療法センター　Studio-Musiczine＆office

〒156-0043
東京都世田谷区松原 2-41-5
TEL：090-2130-9578
Email: info@gmtc-jp.com